



デジタルヒューマン技術協議会

2024年度 第3回協議会

【日時】 2024年8月20日（火）10:30 から 13:50

【場所】 産業技術総合研究所 臨海副都心センター 本館4階 第1会議室

又は、本館3階 人工知能研究センターデジタルヒューマン研究チーム内
Teams によるハイブリット開催

【内容】

- ・ 10:30 - 11:15: DhaibaWorks 講習会
 - 演題: 「DhaibaHand V1 + DhaibaGrasp を用いた手部の姿勢生成・解析」
 - 演者: 多田 充徳 (産業技術総合研究所 人工知能研究センター)

- ・ 11:15 - 12:00: DhaibaWorks 講習会
 - 演者: 遠藤 維 (産業技術総合研究所 人工知能研究センター)

- ・ 12:00 - 13:00: 休憩

- ・ 13:00 - 13:20: 研究発表
 - 演者: 久保 幸子先生 (文化ファッション大学院大学)
 - 演題: 個人別人体モデルを用いた仮想フィッティングシステム
 - 概要: 戦前には家庭裁縫、または仕立て屋で制作する注文服が一般的であった衣服は、高度成長期を経て、現在では安価かつ容易で迅速に入手可能な大量生産の既製服が主流となった。一方、サステナビリティ、生産者の人権保護、環境負荷への配慮の観点から、大量生産・大量消費・大量廃棄を伴う既製服製造プロセスの見直しがアパレル業界における喫緊の課題となっている。そこで、改めて自らの体型にフィットし、長く着用できるビスポーク・テーラリングに着目し、3DCAD、AI等のテクノロジーを活用した、衣服フィッティングシステムの開発に取り組んでいる。本発表では、これらの取り組みについて紹介する。



デジタルヒューマン技術協議会

- ・ 13:20 - 13:40: 研究発表
 - 演者: 井原 拓哉先生 (東京医科歯科大学)
 - 演題: デジタルヒューマンを用いた歩行動画生成と力学的負荷予測
 - 概要: 整形外科領域において、変形性関節症患者では力学的負荷が疾患の進行に関与することが認識されている。しかしながら、医療現場では力学的負荷を定量化する手法がなく、医師や療法士の経験に依存して患者の状態が解釈され、診療が行われている。従って変形性関節症患者の進行予防のためには、進行に関与する力学的負荷を定量的に評価できるシステムが必要であると考えられる。そこで本発表では、これらの臨床と研究のギャップを繋ぐために現在取り組んでいる力学的負荷の可視化に関して、デジタルヒューマンの活用の実際を発表する。

- ・ 13:40 - 13:50: 運営委員会

※Teams へ入る際は「所属・名前」の設定をお願いします

〒135-0064 東京都江東区青海 2-3-26

産業技術総合研究所 人工知能研究センター デジタルヒューマン研究チーム内